

令和8年6月1日（月）
能登半島地震復旧・復興推進部
創造的復興推進課 村木
TEL: 076-225-1984

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨復興祈念シンポジウム 「ノトノコエ 2026 in 大阪」の開催及び参加者募集について

県では、令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨の対応で得られた教訓や復興に向けた能登の姿を発信し、これまで全国からいただいたご支援に感謝を伝えるとともに、震災の風化防止を図るため、大阪市内にて「復興祈念シンポジウム」を下記のとおり開催します。

なお、本日より参加者を募集します。

記

- 1 日時 令和8年8月7日（金）13:30～16:00（12:30 開場）
- 2 会場 グランフロント大阪 北館4階 ナレッジシアター
（大阪府大阪市北区大深町3-1）
- 3 主催 石川県
- 4 ねらい 復興の現状と展望を発信し、これまでの支援への感謝を伝えるとともに、更なる支援・参画を呼びかける
- 5 内容
 - (1) ステージイベント
 - ・ 知事からの基調報告
 - ・ 能登の高校生によるスピーチ
 - ・ 常盤貴子氏（俳優）と石川県知事のトークイベント
 - ・ 能登関係者や復興の専門家らによるパネルディスカッション
 - (2) 展示
 - ・ 復旧・復興の歩みを伝えるパネル展示
 - ・ 「能登で進む復興プロジェクトと、新しい関わり方」
能登官民連携復興センター紹介ブース など
- 6 定員 200名（参加費無料・申込多数の場合は抽選）
- 7 申込方法
申込フォームから申し込み願います。
<https://e-ve.event-form.jp/event/132549/notosympoosaka>
（申込期間 7月7日（火）まで）
- 8 その他
 - ・ シンポジウムの映像は、県公式 YouTube チャンネルで後日アーカイブ配信します。
 - ・ 取材申込受付は7月下旬頃に案内予定です。
 - ・ 今年度は、秋に金沢会場でも復興祈念シンポジウムの開催を予定しております。詳細については、改めてお知らせいたします。





能登の復興とこれから

「伝える」から「つながる」へ。

©石川県観光連盟

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨
復興祈念シンポジウム

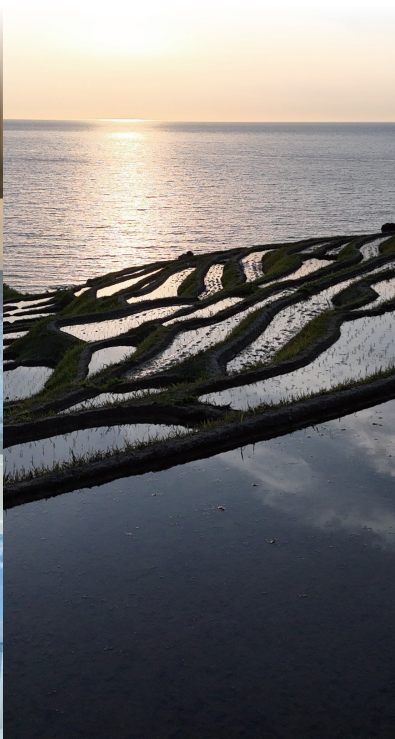
参加費
無料
定員200名

2026 in大阪

とき
2026 8/7 金

●開場 / 12:30~
●開演 / 13:30~
(16:00終了予定)

ところ
グランフロント大阪
[ナレッジシアター] ○Jr大阪駅(アトリウム広場)
から徒歩約5分
大阪府大阪市北区大深町3-1北館4階



ゲスト
常盤
貴子

PROFILE
俳優。神奈川県出身。2015年放送のNHK連続テレビ小説「まれ」の撮影をきっかけに能登へ訪れる。震災・豪雨後は炊き出しや泥かきのボランティア、「一人一花運動 in 能登半島」ではアンバサダーを務め、NHK夜ドラ「ラジオスター」への出演など能登との繋がりを大切に継続的な支援を行っている。

「伝える」から「つながる」へ。能登の復興とこれから

甚大な被害をもたらした能登半島地震から2年半、奥能登豪雨から2年が経過しようとしています。能登はいま、人口減少や高齢化といった防災前からの課題を踏まえ、関係人口の拡大や産学官が連携した取組など、未来を見据えたよりよい復興＝「創造的復興」を成し遂げるために、確実に歩みを進めています。

本シンポジウムでは、これまで全国から寄せられたご支援へ感謝を伝えるとともに、様々な立場から能登の復興に関わる方々をゲストに迎え、能登のいまの姿を「伝える」ことで、能登のこれからへと「つながる」機会となることを目指します。

第1部

13時00分～14時35分

知事基調報告

能登半島地震・奥能登豪雨からの創造的復興について報告します。

能登の高校生によるスピーチ

能登の高校生が感じ、想っていることや、地域の未来について発表します。

- 石川県立輪島高等学校
- 石川県立穴水高等学校

トークイベント

常盤貴子さんの能登での支援の取組や、一人ひとりができる能登への支援などについて、常盤さんと山野知事の対談をお届けします。

俳優
常盤 貴子



石川県知事
山野 之義

第2部

14時45分～16時00分

パネルディスカッション

復興の最前線で活躍する能登関係者や復興の専門家など、多様なメンバーが能登のいまとこれからの語り合います。能登と「つながる」ヒントとなるはずです。

【コーディネーター】
MBSアナウンサー
河田 直也



珠洲市長
泉谷 満寿裕

2006年初当選。地域のあらゆる資源を活かし市民と行政がともに取り組む「地域経営」を推進。2017年から3回にわたり「奥能登国際芸術祭」を開催。



輪島塗復興協議会 理事
ヌシヤ(株) 代表取締役
浦出 真由

石川県輪島市出身・在住。「身につける伝統工芸」をコンセプトに漆のアクセサリーを展開。同協議会の理事として課題解決や人材確保などに取り組む。



和倉温泉観光協会 会長
(株)わくらす 代表取締役
奥田 一博

石川県七尾市出身。2017年、老舗旅館「和倉温泉奥田屋」代表就任。能登半島地震以降、温泉街の未来を見据えた地域一体のまちづくりと復興に尽力。



大阪公立大学大学院
文学研究科准教授
菅野 拓

大阪府出身。内閣官房「防災庁設置準備アドバイザー会議」専門委員等を務め、能登半島地震では石川県知事特命アドバイザーとして県を支援。



NPO法人阪神淡路大震災
1.17希望の灯り 理事長
藤本 真一

兵庫県神戸市出身。1.17のつどい実行委員長。能登半島地震発生後、能登キリコ祭りへの学生ボランティア派遣や「希望の灯り」モニュメント設置を支援。



俳優
常盤 貴子

展示

復旧・復興の歩みを伝える
パネル展示

「能登で進む復興プロジェクトと、新しい関わり方」
能登官民連携復興センター紹介ブース

など

当日お越しになれない方には

石川県公式YouTubeチャンネルでアーカイブ配信



本シンポジウムの映像を後日公開します。

<https://www.youtube.com/channel/UCH8nNfcRRKJV76TCT6S0qmg>

WEBフォームからお申し込みください！

【お問い合わせは】
Tel.076-262-2611

復興祈念シンポジウム受付事務局
(ケイ・シー・エス内)
○平日のみ10:00～18:00

申込期限/2026年7月7日(火)



<https://e-ve.event-form.jp/event/132549/notosympoosaka>